

ミナミクロダイの養殖について

奥原 哲夫、長嶺 巖、村田正憲*

1. 養殖場の概要

伊良部町クロダイ養殖場は、伊良部島と下地島にはさまれた水道域に造成され、昭和59年度に沿岸漁漁場整備開発事業によって完成し面積は8haである。環境的には外海から波浪の影響を受けないが、台風時の強風が吹く場合は、若干影響がある。水質的には水の交流が外海と水路をとおしておこなわれ、夏場には水温が32℃まで上る。ミナミクロダイの飼育については夏場の高水温も影響ないことが分っている。水深は約4mあり、雨天の際には水のにごりが見られ、底質は泥である。

2. 飼育方法

体重平均40gまではミナミクロダイ用配合飼料（琉球飼料）と魚肉（イワシ、カツオ、マグロ）のミンチを1対1に混ぜて与え、平均40g以上には1対2になるように混ぜて与えた。投餌は朝（9時～10時）、夕（16時～17時）の2回で投餌量は1日20kg～30kg、ちなみに飼育尾数は5,000尾である。収容生簀は一統、その間斃死魚もでていたが、その正確な尾数は確認できてない。現在の収容尾数は3,500尾～4,000尾と予想される。

表一 ミナミクロダイの飼育結果

年 度	昭和62年 4月1日	昭和63年 7月20日	昭和63年 8月29日	昭和63年 9月22日	昭和63年 10月28日
平均尾又長	30.0 mm	167.0 mm	184.5 mm	195 mm	197.5 mm
平均重量	0.5 g	111.7 g	160.8 g	174.2 g	177.4 g
飼育日数	0日	476日	516日	539日	575日
肥満度	0.02‰	0.02‰	0.008‰	0.02‰	0.02‰
日間増重率	0%	0.42%	0.90%	0.35%	0.51%
日間増長率	0%	0.29%	0.57%	0.53%	0.51%
測定尾数	20尾	45尾	30尾	25尾	25尾

3. 飼育経

昭和62年4月1日に収容した平均尾又長30.0mm、平均重量0.5gのミナミクロダイ種苗が、ほぼ1年4ヵ月後の昭和63年7月20日には平均尾又長167.0mm、平均重量111.7gに成長している。水試のミナミクロダイ養成結果と比較してみると、成長がやや悪い。このことは水質、投餌方法など飼育環境の相違が考えられる。その後は1ヵ月後ごとに尾又長、重量を測定したが、尾又長は昭和63年7月20日～同年8月29日までのほぼ1ヵ月間17.0mm、重量49.0gの成長を示してい

* 伊良部町水産課

伊良部地区養殖場（水道域）水温推移

計測時間 PM 1:00 ~ 4:00

◎ ——— ◎ 高
△ ——— △ 低



